

名工 永徳齋えいとくさいの人形

旧安田楠雄家やすだくすおの節句飾りと紙鳶洞しえんどうコレクション

- 展覧会名： 名工・永徳齋の人形—旧安田楠雄家の節句飾りと紙鳶洞コレクション
同時開催：佐野美術館のおひなさま
- 会 期： 2019年3月2日[土]～4月7日[日]
- 会 場： 佐野美術館
- 開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
- 休 館 日： 木曜日(3月21日は開館)
- 入 館 料： 一般・大学生1,000円 小・中・高校生500円
*毎週土曜日は小中学生無料
- 主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会
- 後 援： 静岡県教育委員会、日本人形玩具学会
- 協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社
- 協 力： 公益財団法人日本ナショナルトラスト、たてもの応援団、日本人形文化研究所

展覧会の趣旨

佐野美術館にて、2019年3月2日[土]から4月7日[日]までの期間、人形美の極致ともいえる永徳齋の展覧会を開催します。

永徳齋は江戸時代の御用雛人形司の流れをくみ、明治時代から昭和時代まで続いた人形司です。典雅な人形は、皇室をはじめ旧公家・大名家、財閥の節句を彩りました。

本展は東京都文京区千駄木の旧安田楠雄邸のために揃えられた三代永徳齋の品格高い雛飾りと五月飾り、永徳齋研究の第一人者である林直輝氏のコレクションより永徳齋各代による珠玉の作品約30件を紹介いたします。

展覧会のみどころ

旧安田楠雄邸の節句飾りは、人形のみならず道具類のすべてが三代永徳齋の手によるもので、残月の間の床の間に飾るために制作されました。人形美の技巧が冴える雛飾り、格調高い五月飾りは、現在も旧安田楠雄邸にて節句に合わせて展示していますが、本年は特別に佐野美術館で春を迎えます。

紙鳶洞コレクションは日本人形文化研究所所長・林直輝氏の、主に日本の伝統的な人形と玩具に関する数万点にのぼる資料群です。美的な側面はもちろん資料的な価値も高く、永徳齋作品においては各代の名作を擁します。本展では貴重なコレクションより日本武尊、小楠公など武者人形を中心に紹介します。

同時開催の「佐野美術館のおひなさま」は佐野美術館所蔵・寄託の雛人形より、江戸の名工原舟月の作と伝わる古今雛、江戸八丁堀の名物雛として名高い贅を尽くした仁杉家旧蔵の雛飾り、御所を忠実に模した大正時代の御殿飾りなど華やかな雛をお楽しみいただけます。

主なイベント

- ◆特別ギャラリートーク「永徳齋の技と美」 3月16日(土)11:00～/14:00～
- ◆担当学芸員のギャラリートーク 3月23日(土)14:00～

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～7の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1.



2.



3.



4.



5.



6.

佐野美術館のおひなさま



7.

1. 日本武尊 三代永徳齋作 紙鳶洞コレクション
2. 旧安田楠雄家節句飾り 雛飾り〈内裏雛〉 三代永徳齋作 1933年 公益財団法人日本ナショナルトラスト蔵 撮影/高村規 資料提供/高村達
3. 神武天皇 初代永徳齋作 紙鳶洞コレクション
4. 鍾馗 二代永徳齋作 紙鳶洞コレクション
5. 馬乗小楠公 三代永徳齋作 紙鳶洞コレクション
6. 旧安田楠雄家節句飾り 五月飾り〈大鎧〉 三代永徳齋作 公益財団法人日本ナショナルトラスト蔵 撮影/高村規 資料提供/高村達
7. 古今雛 伝原舟月作 江戸時代 佐野美術館蔵

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL <http://www.sanobi.or.jp> E-mail koho@sanobi.or.jp